

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
819	地場産業振興事業	会計	01	一般会計	
		款	07	商工費	
43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	項	01	商工費	
		目	03	観光費	
		細目	101	観光振興経費	
山本 清	連絡先	22-9670	細々目	02	地場産業振興事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	伊賀市の特産品生産者と物産振興団体	伊賀市の特産品生産者の新商品開発意欲や販路開拓意欲を高め、売り上げの向上による経営改善、製品のブランド化を図る。		
本年度事業内容	①伊賀市物産協会への地場産業振興事業(じばさんまつり)の委託 ②三重県組紐協同組合と伊賀焼振興協同組合への伝統的工芸品産業振興補助金の交付			
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1	1	1
人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,362	2,370	2,220
委託料	1,500	1,250	1,200
補助金	612	900	800
その他	250	220	220
合計(A+B)	9,562	9,570	9,420
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	9,562	9,570	9,420
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
物産展への出展数	回	3	3	3			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
物産展催事の売り上げ高	物産展における特産品売り上げ高の前年度額を目標値に設定し、当該年度を評価。	千円	1,586 目標 (1,617)	1,600	1,600
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

市内外の物産展への出展や伝統的工芸品の振興助成を通じて伊賀市の地場産業振興を進めてきたところである。しかしながら近年、消費の低迷や流通形態の多様化による消費者のニーズ変化に、伝統的工芸品を含め地場産業の生産者が対応しきれていないのが現実である。今後、合併に伴う新たな特産品の創出や多様な販売ツールを活用しての市場開拓などの取り組みによる地場産業の活性化が求められている。

評価	必要性	4	特産品の成長は伊賀市の経済振興につながるとともに、市の知名度アップにも寄与することから、コストを意欲して本事業の成果を向上させることが求められる。	総合評価
	有効性	4		B
	達成度	2		
	効率性	3		